

ま 真室川町

議会だより

2019年4月25日

No. **146**

平成最終版



ま新しい教科書で「勉強がんばります」

— 真室川あさひ小学校の入学式(4/8) —

新庁舎建設着工（3月定例会のあらまし）…………… 2

一般質問（3人登壇）…………… 8

請願・陳情・議会のうごき…………… 11

所管事務調査、その後…………… 12

新体制でスタート…………… 13

町民の声…………… 14

れい わ
新元号は「令和」

5月1日より施行

3月
定例会

会期：3月6日～12日

教育振興計画による新たなまちづくり

31年度 予算総額……94億円超

平成31年度各会計当初予算

会 計 名	予 算 額	対前年比 (%)
一 般 会 計	61億300万円	11.6
国民健康保険特別会計	8,300万円	▲8.3
後期高齢者医療特別会計	8,440万円	▲5.1
介護保険特別会計	11億5,350万円	0.1
町立真室川病院事業会計	12億9,750万円	13.2
水道事業特別会計	5億1,200万円	▲21.1
公共下水道事業特別会計	1億1,370万円	6.8
まむろ川温泉梅里苑事業特別会計	1億890万円	▲2.9
総 額	94億5,600万円	7.3

◆**長寿祝金**
かぞえ100歳到達された方に30万円を贈呈

◆**役場新庁舎建設着工**
新庁舎建設、外構整備…約7億7000万円(今年度分)

◆**安楽城保育所・釜淵保育所改修**
老朽化対応、ホールへの空調設置、年長児の活動・保育室の確保など ……約1億3000万円

◆**施設使用料の減免基準見直し**
スポーツの日常化、芸術文化活動の日常化をすすめるため、社会体育施設は65歳以上の個人使用について免除に
中央公民館は芸文協加盟団体について通年免除に

◆**教育振興計画の策定**
町中図書館構想事業、スタディーツアー「大人の社会科見学」事業など

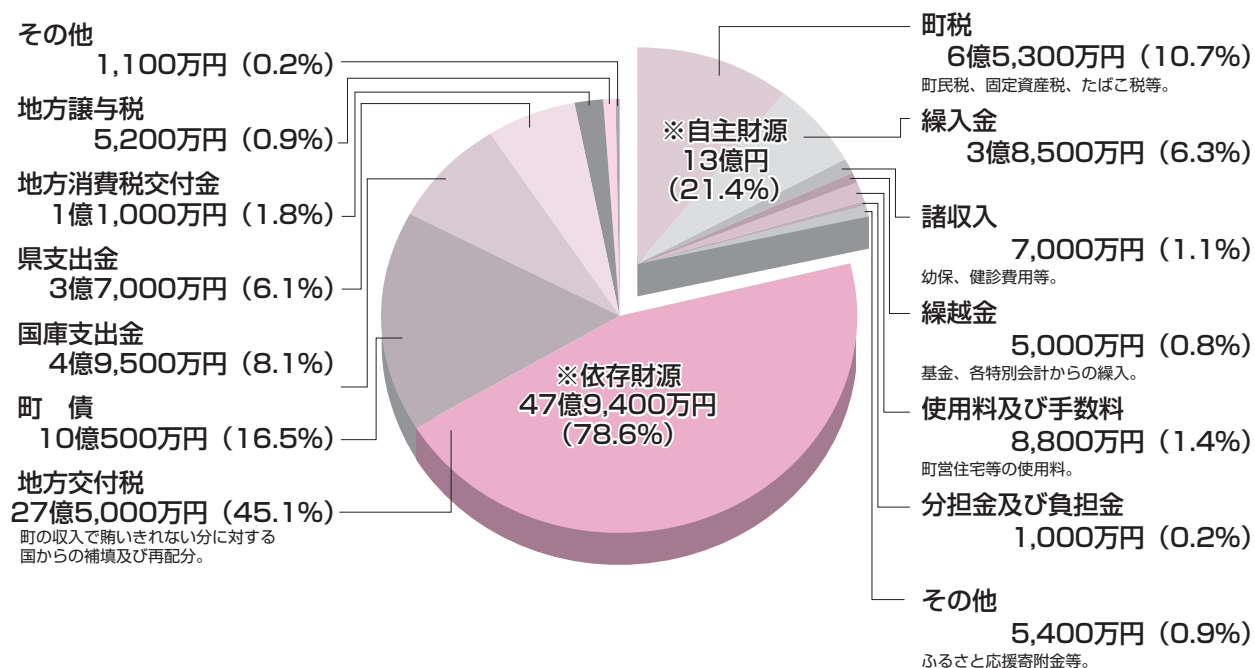
◆**ドローン整備**
防災、イベント、公共施設の点検、遊休地・耕作放棄地の確認などに活用を予定…約457万円

◆**全国山菜サミット(5月31日～6月1日)**
記念講演、パネルディスカッション、交流会など ……200万円

- 条例設定……1件
 - 条例改正……14件
 - その他の案件……5件
 - 補正予算……5件
 - 新年度予算……8件
- 計 33 件
すべて原案どおり可決

3月定例会は6日から12日までの7日間の会期で開かれ、条例改正、各会計補正予算、平成31年度各会計当初予算など、町長提出案件33議案を慎重に審議した結果、全て原案どおり可決されました。

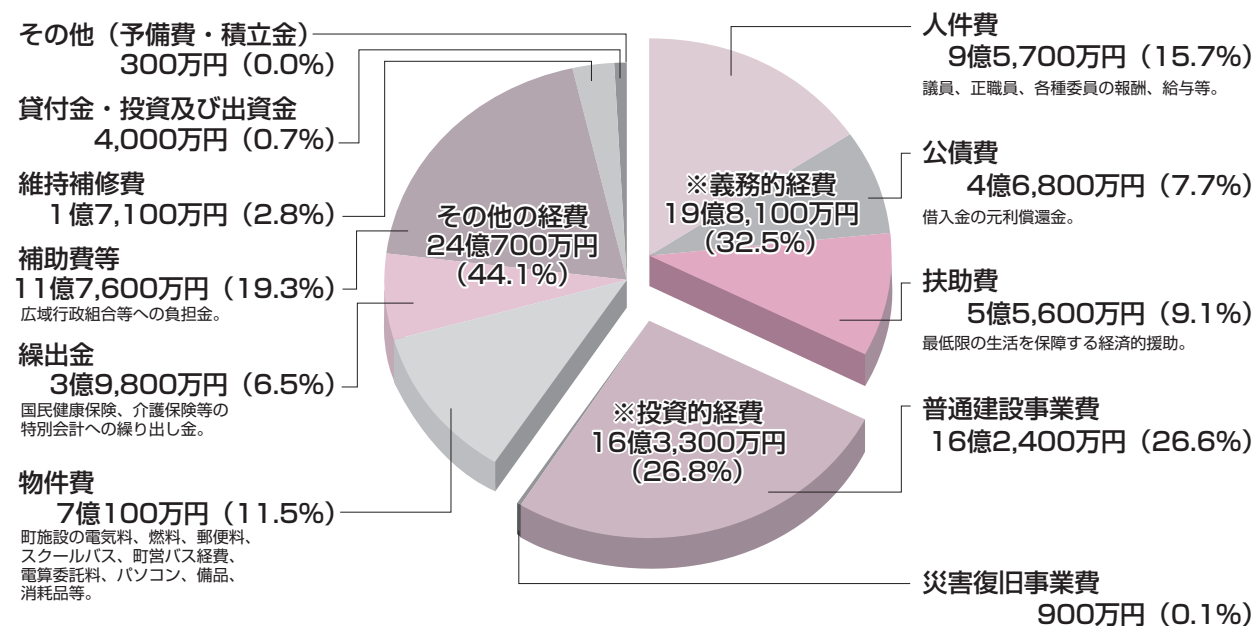
一般会計 歳入 (100万未満四捨五入)



合計 61億300万円

※自主財源：町が自主的に収入する財源をいう。
※依存財源：国や県から定められた額を収入する財源をいう。

一般会計 歳出 (100万未満四捨五入)



合計 61億300万円

※投資的経費：施設など、財産として将来に残るものの経費をいう。
※義務的経費：支出が義務付けられ、任意に節減できない経費をいう。

役場新庁舎建設 いよいよ着工!!

〔一般会計〕

役場庁舎建設

菅原道雄委員 町民の一部の方から新庁舎建設に当たり、税金が高くなるのではないかと心配される声があるがどうか。

町民課長 そのようなことはない。

佐藤一廣委員 役場庁舎建設のスケジュールについて伺いたい。

総務課長 現段階では31年度は施工率40%を目指す。出来高の調査は31年度中にする。32年度は11月末まで完成させる。

教育費

佐藤栄子委員 生涯教育推進費のスタディツアー事業経費について伺う。

教育長 大人の社会見学ツアー学びの機会とし町内の歴史・文化財・自然環境などを魅力的な教育資源を知る。

佐藤栄子委員 小学校

て行く。

林業振興

佐藤正委員 高性能林業機械購入支援と林業新規就業者育成支援の内容について伺いたい。

農林課長 雇用奨励型と後継者育成型とあり、雇用奨励型は産業振興条例の雇用奨励金として同じ金額で検討していく。後継者育成型は新規に林業へ就業しようとする者の支援。計画書を提出していただきながらそれを審査しながら検討していく。



高性能林業機械

建築技能者表彰

佐藤一廣委員 建築技能伝承の匠の表彰者は

管理費の中のおいしいふるさと給食事業費補助金について伺う。

教育課長 特色ある給食と言うことで一食25円、加えて地産地消・郷土食の推進を行っている。

佐藤正委員 新規の町立保育所改修事業の安楽城保育所、釜淵保育所の改修工事の内容について伺いたい。

教育課長 両保育所は老朽化が進んでいるのでその対応を行う。年長児の保育の場が無いのが課題となった為、年長児の保育所の確保。大ホールのエアコン設置。保育の質を向上させるための改修工事となっている。



釜淵保育所

何名いるのか。

建設課長 新庄、最上建設組合真室川支部で対象の方89名。50歳以上で経験年数20年。該当者は8名で町長が表彰する。

ドローンの活用

外山正利委員 使用目的は防災を第一にというが他には。

総務課長 イベントの他、公共施設の点検、例えば水源池には冬にはかんじきを履いて行っていた。農地では遊休地、耕作放棄地の確認にも使えそう。まずはオペレーターをしっかりと養成し、いろいろ使っていきたい。

〔病院事業会計〕

外山正利委員 新しい医師が招へいされた。及位、釜淵の診療所の体制はどうなるか。

病院事務長 当面は現状通り。国が定める医

佐藤一廣委員 ベンチャーキッズチャレンジ事業の目的について伺いたい。

教育課長 平成30、31、32年度の3年で県の委託事業である。当町ではあさひ小学校がモデル校となっている。伝承野菜を栽培して試食などの活動を取り組んできたが、今後は加工販売などを計画的にやっていく。世の中の厳しい社会経済に対応できる心を支援していくのが目的。

事務組合負担金 〔広域事務組合負担金・道の駅〕

外山正利委員 東北中央道、道の駅の整備について、県で予算を組んでいるが、各市町村の思惑がバラバラでまとめるのは大変。町としてどう考えて臨んでいくか。

町長 管理経営が町単独では難しく、許可されないだろう。新庄で

師の標準数7・5人に対し、新体制となる4月から5・9人と不足している。まずは本院を標準数に近づけたい。

平野勝澄委員 生活困窮者が個室使用を打診され、調整の上、一般病室使用で収まったことがあったが、病床満床など病院都合による個室使用の場合、料金はどうなるか。

病院事務長 病院都合の場合は一般病棟と同じ。説明し同意書をもった患者のみ、個室使用料をいただいている。

佐藤栄子委員 病院の電子カルテ導入と更新医療器械について伺う。

病院局長 今年度より9から10カ月間にわたり技術習得を行い電子カルテに移行する。又、回診用のX線装置更新、整形用診断・麻酔用診断装置導入、配膳車などが更新される。

3か所候補地が上がっているが、まだ絞れていない。そこに、ネットワーク的に各町村が関わったかどうかと提案されている。県が間に入り、将来の話をすすめている。

農業創生事業

菅原道雄委員 元気な農業創生事業はどういう事業を想定しているのか。

農林課長 基盤整備に乗れなかった方がたの対応を検討してゆく。

社会資本整備交付金事業

佐藤成子委員 流雪溝について、今年度の事業計画は、拡大に向けての考えは。

建設課長 宮町一地区の事業である。

町長 拡大、新規事業としては大変難しい状況にある。地域住民の要望等を多く聞き入れたうえで検討を行っていききたい。まずは水ながるか無いか問題

点である。まずは町民の皆さまの声を聞きながら検討を行っていく。

家庭保育支援給付金

佐藤成子委員 家庭での保育も日々、大変な重労働でもあり幸せな労働でもある、内容は。

教育課長 生後2か月から、1歳未満の乳児を家庭で保育している世帯への月額30,000円の支援である。

観光振興費

大友又治委員 梅の里マラソンは30回大会より女子にも10キロコースが、設けられた、他に20キロコース、ハーフマラソンを設けることによって滞在型や観光、誘客事業につながるのでは。

交流課長 梅の里マラソンは梅まつり健康マラソンと銘打って行なっていることやハーフマラソンについては莫大な費用を捻出することから今後の課題として

予算審査特別委員長報告 (要旨)



予算審査特別委員長 高橋 秀 則

・ドローンの活用により災害時の被害状況を迅速に把握し、復旧作業の効率化に期待する。今後、災害以外での有効活用についても検討を望む。

一般会計

(産業面) 町の基幹産業である農林業に対し町単独の創生事業を創設するなど、担い手育成支援策を講じているが、生産から加工までの幅広い支援策についても拡充を求めるもの。(教育面) 長年待たれた真室川中学校グラウンド、保育所の大規模改修により、子ども達が安心して学べる環境になる。また、新たに策定される「真室川町教育振興計画」など、町独自の教育方針により、将来を担う子どもへの育成に向けた施策にも期待する。(生活面) デマンドタクシー運行を町内全域に拡大するなど、交通の利便性が向上する。

特別会計 (町立病院事業会計) ・長年の重要課題であった医師確保が実現し、町民が安心して医療を受けられる環境づくりがなされ、町の大変な努力の成果と評価する。・医師の定年延長により当面は現状を維持できるものの、引き続き新たな医師確保と併せ、診療所医療体制の向上など、病院の安定経営に努力されるよう望む。(水道事業特別会計) ・県内で最も水道使用料金が高いという状況であることから、使用料金の引き下げに至ったが、今後も有収率の向上に取り組み、更に料金引き下げが可能か精査すべき。

交流課 ▶▶▶ 企画課に 担当制 ▶▶▶ 係長制に再編

機構改革

議案審議

◆課設置条例の改正

佐藤一廣議員 庁内で検討委員会や組織を立てて意見を聞いて設置条例を検討したのか。

副町長 今回の設置条例について検討委員会を重ね、ポイントとしては、組織機能の見直し、体制、機能を明確化し、企画・政策推進機能、コントロール、職員数などを考えて町長に提言した。

町長 企画課は、重要な課であり、行政をひっぱっていかなければいけないので、企画機能と職員体制を明確化した。

◆秋山牧場設置条例の改正

外山正利議員 管理委

託費は前年度と比べて中身はどのようになっているのか。農協の職員はベースアップしているのか。

農林課長 農協への委託内容の中で、町の臨時雇用職員（重労働扱い・1日当たり8500円）の賃金単価をベースに雇用している。経営委託上、農協側で判断すると思う。

佐藤一廣議員 秋山牧場の使用料金は役場の収納になつていいのか。

農林課長 放牧は上期と下期があり、請求し役場の方に収納となっている。

舎飼いについては金額が高いため一ヶ月ごとと請求し役場の方に収納となっている。

◆特別職員給与の条例改正

平野勝澄議員 特別職の給与が上がることになるが改定の考え方は。

町長 福祉給付、臨時職員や職員の給与改善などに一定の目的が立った。農業、林業、福



秋山牧場の舎内

の仕事で当然やつていく。

大友又治議員 近隣の給与と比較はしているか。

総務課長 新庄は少し高いが、他6町村は今回の改定で提案する額と同額だ。

佐藤一廣議員 予算規模も人口も少ない村と肩を並べる水準でいいのか。

◆一般会計補正予算 ○産地・ブランド化 促進事業費

佐藤栄子議員 産地・

◆役場新庁舎建設工事 申請負担契約の締結

大友又治議員 入札に至るまでの経緯について伺う。

総務課長 1月29日から閲覧を開始し2月27日に入札として1か月とった。

大友又治議員 解体など工事の範囲について伺う。

総務課長 工事の範囲については庁舎の解体については入っていない。水道管理棟については終了している。既存の車庫については、まもなく工事に入るものになっている。

その他の議案

(※議案名は簡略標記しています)

◆小規模企業振興基本条例の設定

◆一般職職員の給与・定年等・勤務時間等に関する条例改正

◆介護保険給付基金の条例の改正

◆災害弔慰金の支給等の条例改正

◆梅里苑設置及び管理に関する条例改正

◆公共下水道に関する条例改正

◆道路占用料徴収の条例改正

◆水道給水条例の改正

◆町立病院の使用料等の条例改正

◆過疎地域自立促進計画の変更

◆辺地総合整備計画の変更

◆議会中継システム購入契約の締結

◆新庁舎書架購入契約の締結

◆人権擁護委員の推薦について 小松 一美氏(砂子沢)



産地パワーアップ事業で導入された機械

ブランド化促進事業費の補助及び交付金について伺う。

農林課長 園芸大岡山形産地育成支援事業負担や産地パワーアップ事業。土地利用・園芸

作物等で減額となる。担い手確保。経営強化支援事業補助金(国補正)がされている。

秋山牧場管理用機械 購入費などが計上される。

○美しい森林作り基盤整備事業

佐藤成子議員 美しい森林づくりに対し補助、助成は。

農林課長 国の補助事業で、市町村が実施する間伐事業で、国、2分の1の補助制度で、町が10分の1の上乗せを図りながら実施している事業である。

○ふるさと納税

佐藤正議員 国の指導でふるさと納税が歳入、歳出ともに減額はやむをえないと思うが、その内容について伺う。

交流課長 国の指導により返礼率を3割以内と指示があったが、今後はニーズの高い商品にしていくよう、検討していきたい。



平野 勝澄 議員

■今後の水道整備の考えは

町長

□負担軽減しつつ、安定した供給に取り組む

議員 町内では井戸利用が少なからず残されている。安全かつ安定した供給を期待できる上水道が整備されることは、住み続けられる真室川をつくっていくうえで重要なのではないかと。町長の考えは。

町長 現在4つの水源と県企業局から購入している水道用水により供給しており、平成29年度末の給水人口は7502人、給水率94・8%となっている。川ノ内長野、大石川、長

沢前、西郡、川舟沢、小又、塩根川の7地区は水道未普及で、個人が設置した井戸等により水を確保している状況。県で定めた「山形県飲用井戸等衛生対策要領」において衛生対策や指導基準等が定められており、管理や定期検査については設置者が自ら実施することとなっている。平成25年度からの3か年、これらの地域を対象に、水質検査費用と滅菌機の購入・設置費用に全

額補助を行い、重点的に対策を講じた。本町の水道事業については、施設・設備の老朽化が課題となっており、計画的に更新・整備を推進することが必要となっている。一方、未普及地域については、安全な水を使用していたため、飲用井戸の水質検査費用と滅菌機の購入・設置について、もう一度意向調査をやる必要があると考えている。個別の相談に今後も対応し

たい。来年度から水道料金の基本料金を引き下げ、町民の経済的負担を軽減するとともに、引き続き安定的な水の供給に取り組んでいく。



安心で安定した水の確保が重要

他の質問

●地域おこし協力隊事業の成果と今後の取り組みは

一般質問は、行政全般にわたり町当局に対して事務の執行状況や将来における政策方針について、議員個人が問いたですものです。

■賑わいのある町づくりの為に

町長

□友好親善や交流を支援し友好関係を深めていく



佐藤 栄子 議員

議員 姉妹都市「古河市」との締結の歴史については。

町長 約四百年前の戦国時代の歴史が取り持つ縁で、昭和63年11月30日に姉妹都市の盟約が取り交わされた。その後産業交流・人材交流・スポーツ交流等に広がり平成18年1月21日に本町と新古河市と姉妹都市の締結がされた。

議員 町内各団体の積極的な交流による町の賑わいの創出はどうか。

町長 平成30年度から姉妹都市交流推進事業補助金制度を創設し、スポーツ少年団の真室川少年ジャイアンツが制度を利用し訪問交流を行った。

議員 本年度についてはどうか。

町長 姉妹都市締結から30周年の節目を迎え、「ホワイトアスロンワ

ールドカップ2019」・「梅の里マラソン大会」に来町される。また記念事業や交流事業を実地しながら友好親善や交流を支援して行く。

議員 東京都荒川区との交流はどうか。

町長 「川の手荒川祭り」・「日暮里春祭り」その他については物産での交流となり、姉妹都市には至っていない。

議員 宮城県女川町での民間による物産による交流についてはどうか。

町長 「真室川音頭」の由来の関係するところでもあるが、現状の形でいきたい。姉妹都市という形にとらわれないことなく、町民の皆さんによる相互交流の支援を行い友好関係を深めていく。



ホワイトアスロン～古河市の子ども達との交流～



佐藤 成子 議員

■及位駅を最大活用し集客を

町長

□地域資源を効果的に活用し、交流拡大していく

議員 東北中央自動車

道、及位駅を最大活用し集客をしてはどうか。

道の北の玄関口ともいえるインターチェンジがJR及位駅のある朴木沢地区R13号線付近に建設予定地とされている。議会報告会の中で地区の活性化に繋がるような道の駅建設の要望も出た。JR及位駅が難読な駅で昔から有名である。他にも「やまがた百名山」の「甑山」など加無山県立自然公園等の山岳、多くの自然資源がある。そこで、JRとコラボ

し及位駅を最大活用し集客をしてはどうか。**町長** 東北中央自動車道の完成を見据え、地元の方や関係者の意見を聞きながら交流拡大に向けた発信の強化や地域資源の効果的な活用など、及位地域の活性化に取り組んでいく。**議員** 及位地区に温泉施設を作り交流人口活性化に繋げては。

町長 掘削予定地の選定はもとより事業計画書の作成や掘削許可や温泉動力に関する許可

を得るため審議会等、多くの課題がある。賛同される事業者を含めて具体的な計画を紹介、提示された段階でニーズをふまえた支援等の在り方に検討していく。

議員 他県からの多くの集客、交流を図るためわくわくするような楽しいマップ作りを。

町長 現在、「真室川町観光パンフレット」は、観光名所などを示したネイチャーマップ、観光拠点である梅里苑周辺マップ、裏面には

飲食店案内や物産品紹介イベントやおすすめスポットを紹介している。今後更新充実を図りながら広域的な観光交流のニーズに添えていく。

議員 最上らしさ、最上オリジナルな「道の駅」構想について。

町長 道の駅は過疎化・少子高齢化・若者の流出などの人口減少に歯止めをかけ、高速道路等の利活用による交流人口の拡大と産業振興を図る有効な施設

である。本町、最上地域全体の活性化に繋げられるような行為域的な連携も含め道の駅設置について充分な検討を進めていく。



活用が期待される及位駅

請願

●ライドシェアの導入に反対し、安全・安心なタクシーを国に求める請願を要請する意見書提出の請願

【請願者】

一般社団法人山形県ハイヤー協会

会長

石川 康夫

全国自動車交通労働組合連合会

山形地方本部

執行委員長

遠藤 栄二

外山

正利

【紹介議員】

【結果】採択

※意見書として関係大臣等に提出

陳情

●全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書提出を求める陳情書

【提出者】

日米地位協定を見直す会

共同代表

難波希美子

●奥山等のスギ・ヒノキ放

置人工林を、森林環境譲与税（仮称）で順次計画的に皆伐を進め、天然林に戻すことを求める陳情書

【提出者】

一般財団法人 日本熊森協会

会長

室谷 悠子

●「辺野古新基地建設が、

沖縄県民にのみ過重な負担を強い、その尊厳を踏みに

じるものであることに鑑み、解決に向けた主体的な取り組みを日本国民全体に呼びかけるとともに、政府に対し、沖縄県民の民意を尊重することを求める決議」

【提出者】

沖縄弁護士会

会長

天方 徹

※以上3件は配布のみ

議会のうごき

H31年1月～4月

1月29日(火) 町長、議長、教育長、町連合婦人会との語る会

2月20日(水) 最上広域市町村圏事務組合議員懇談会

25日(月)～26日(火) 最上市町村議会議長会議長・副議長合同会議

26日(火) 町議会運営委員会、全員協議会

最上地区広域連合議会運営委員会、全員協議会

3月1日(金) 最上地区広域連合定例会

6日(水)～12日(火) 町議会定例会

14日(木) 最上広域市町村圏事務組合議会運営委員会

20日(水) 最上広域市町村圏事務組合定例会

4月1日(月) 第1回町議会臨時会

8日(月) 最上地方町村議会議長会例会

○議会広報常任委員会の開催
(3/28、4/4、4/10、4/17)

※この他、町主催の行事にも出席しております。

伝言板

春夏秋冬

新元号発表「平成」～「令和」へ

—「令和」の出典は「万葉集」より—

しよしゆん れいげつ きよ かぜやわ
「初春の令月にして 気淑く風和らぎ
うめ きょうぜん こ ひら らん はいご こう かおら
梅は鏡前の粉を披き 蘭は珮後の香を薫す」

この中にも町のシンボル「梅」が登場している。とても喜ばしいことである。

町においては2020年11月末完成予定の庁舎建設も大きな話題である。また近々では、5月31日、6月1日と両日にわたって、地元産のおいしい山菜のお披露目でもある「全国山菜サミット」も開催される。

是非堪能していただきたい。

常任委員会紹介

所管事務調査後の追跡調査

常任委員会は、議案や請願について詳細に審査する機関です。委員会ではより適切な審査を行うため、毎年所管事項について町内の現地調査を行い、その調査を元に対して評価・改善事項を指摘し、よりよい町政に反映させていくこととしております。

その後の町の対応で改善・新年度予算等に反映された主なものについて、内容を要約してお知らせいたします。

調査日 6月27日・28日

○学校経営概要及び課題等について

指摘事項 長年の懸案事項であった真室川中学校グラウンド整備にようやく着手する運びとなったことから、継続事業として早期の完成に努力されたい。

◇改善等処理結果

現在は実施設計を実施中です。他事業と優先順位などを検討しながら実施に向け計画してまいります。

※今年度予算に改修事業費が計上されました。

○町立保育所の現状

保育所共通の指摘事項教育課に移管になった

総務文教常任委員会

た経過を踏まえ、幼児教育の充実という観点から、今後の具体的方針を検証するよう申し入れていたが、その後の検証結果の報告を。

◇改善等処理結果

町の教育全体構想の中に幼児教育を位置づけ、こども園・保育所の就学前保育・教育課程を共通化しているところ。また職員研修も一部を合同で実施するなど、幼児教育の充実に努めているところです。

【釜淵保育所】

指摘事項 予定されていた床張替工事が中止されたとはいえ、景観上の問題もあることから、当面床面を塗装する

るなど検討されたい。

◇改善等処理結果

床補修については、施設全体の改修にあわせて検討してまいります。

産業福祉常任委員会

調査日 7月4日・5日

○真室川公園の改修事業

指摘事項 町内外の方がイベントを始め日常的に憩いの場として利用する公園であるので、利用促進・拡大のために関係課との連携をと

りながら、衛生管理・健康管理の観点からも水飲み場の設置など町民目線に立った改修を検討されたい。

◇改善等処理結果

イベント広場として改修し、今年度梅まつ

す。

※P4のやりとりの通り、安楽城保育所、釜淵保育所ともに改修が実施されます。

○町道詰田沢下小又線道路改良事業の進捗状況

指摘事項 工事の早期完成は地域住民の要望でもあるので、完成までの間は、なだれ等の事故を未然に防止する

など、特に冬期間の交通確保に努められたい。

◇改善等処理結果

今年度と来年度は調査・設計を行い、32年度以降工事に着手する予定としております。完成までに一定期間を要することから、これまで同様、パトロールによる点検活動、雪庇の除去、スノーポケットの設置を行い、危険防止に努めます。

○橋梁架け替え事業の完成状況

※視察時点で下三滝橋と田代橋が完成

指摘事項 今後も町の長寿命化計画に基づいた事業を着実に執行されたい。



改修された真室川公園のイベント広場

◇改善等処理結果
田代橋の旧橋撤去と護岸工事について年度内の発注を予定していますが、他にも4橋の補修工事と次年度以降の補修工事にむけた測

量設計を発注しております。今後も計画に沿った事業を実施してまいります。

※今年度、3橋の工事が実施されます。

議会の構成が変わりました

●4月1日(月)、第1回町議会臨時会が招集され、副議長、委員会の構成等が変更になりました。詳細は以下のとおりです。

■議長：五十嵐久芳 ■副議長：佐藤 正

【委員会の構成】

◎…委員長、○…副委員長

委員会名	人員(定数)	委員氏名					
総務文教常任委員会 (総務課、企画課、町民課、会計室、教育委員会)	5人 (5人)	◎大友 又治 外山 正利 佐藤 正	委員 委員 委員	○佐藤 成子 佐藤 一廣	委員 委員		
産業福祉常任委員会 (農林課、建設課、福祉課、町立真室川病院)	5人 (6人)	◎菅原 道雄 佐藤 栄子 五十嵐久芳	委員 委員 委員	○高橋 秀則 平野 勝澄	委員 委員		
議会運営委員会	5人 (5人)	◎外山 正利 平野 勝澄 大友 又治	委員 委員 委員	○高橋 秀則 菅原 道雄	委員 委員		
議会広報常任委員会	5人 (5人)	◎平野 勝澄 高橋 秀則 佐藤 正	委員 委員 委員	○佐藤 栄子 佐藤 成子	委員 委員		

■最上地区広域連合議会議員 大友 又治 議員

町民の声

町婦人会の研修として3月定例会を傍聴しました。

当日の議会では、主に31年度予算案について審議されました。

特に、教育分野では、将来を担う子どもたちを見据えた施策が盛り込まれており、期待が持てました。

また、少子化等、多方面にわたる町の課題はありますが、町の将来に明るい展望が持てるような住民主体の町づくりを切望します

安久土地区

杉原 優子さん



議会傍聴の様子

傍聴お待ちしております

● 次回の定例会は **6月です**

平成30年の本会議議事録は町ホームページでもご覧いただけます。

URL <http://www.yume-net.org/>

お問い合わせは
議会事務局まで ☎62-2111 (内線205)



新事務局長
佐藤 信和

よろしく願います。



前事務局長
佐藤 久和

お世話になりました。

議会事務局人事異動

編集を終えて

新年度となりました。今年は12年に一度の、統一地方選挙と参議院選挙が重なる選挙の年です(わが町の場合、町長選挙と町議選挙は時期がズレますが……)。県議選、最上郡区は無投票でした。候補者にとっては選挙で勝ち上がってこそ信任を得たと自信を持てる、という思いもあり、有権者にとっては選択の機会が欲しかった、という方もいらっしゃるでしょう。しかしこれも一つの結果です。夏には参院選があり、こちらは間違いなく選挙戦となります。参政権を行使する重要な機会です。どんな判断を下すにせよ、有権者としてしっかりと判断されることを願います。

(平野 勝澄)

〔議会広報常任委員会〕

委員長	平野 勝澄
副委員長	佐藤 栄子
委員	佐藤 正子
委員	佐藤 成子
委員	高橋 秀則